

優勝を決めマウンドに駆け寄り喜びに沸く  
三菱重工長崎ナイン



社会人野球  
日本選手権

# 重工長崎が初優勝

決勝 (14日・大阪ドーム)

三菱重工長崎	0	0	1	0	2	0	0	2	0	5
東芝 (神奈川)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(三) 後藤 河田  
 (東) 銭場、須田 安田、宮内  
 本塁打 吉村忠 (三)  
 二塁打 吉村忠、鈴木 (三)、  
 開田

第28回社会人野球日本選手権最終日は14日、大阪ドームで決勝を行い、三菱重工長崎(長崎)が5-0で東芝(神奈川)に快勝し、初優勝した。九州勢の優勝も初めて。

三菱重工長崎は先発の後藤が2安打完封勝利。打線も吉村忠の本塁打など16安打で効率的に得点した。東芝は2年連続の準優勝。最高殊勲選手には三菱重工長崎の後藤投手が選ばれた。

【評】三菱重工長崎の後藤が2安打完封勝利。制球よく変化球を投げ込み、東芝打線をかわした。打線は三回に1点を先制。五回に2点を追加し、八回には吉村忠の本塁打などで2点と、終始主導権を握って試合を進めて快勝した。

東芝は銭場が粘り強く投げて試合をつくったが、打線がこたえられなかった。